

東灘災害写真展 大震災と大水害

～住吉駅から振り返る～

今年で阪神・淡路大震災から20年が経ちます。この20年の間にも地震や津波に限らず多くの自然災害が日本を襲いました。昨年の夏には広島や丹波で豪雨による深刻な土砂災害が発生しました。花崗岩を多く含有する六甲山系に囲まれた神戸でも、集中豪雨は警戒せねばならない自然災害の一つです。実際、東灘区も水害にたびたび見舞われており、昭和十三年には多くの犠牲者を出した阪神大水害もありました。

そこで、東灘区でかつて発生した災害を振り返り、教訓や課題を再確認するために、阪神・淡路大震災と阪神大水害の被害写真を収集し、パネルとして展示します。

ぜひ、現在の町並みを思い浮かべながらご覧になってください。

[日時] : 1月10日～1月25日

[場所] : 六甲ライナー住吉駅横渡り廊下

[協力 (順不同、敬称略)] : (財)住吉学園、住吉歴史資料館、白鶴酒造(株)、菊正宗酒造(株)、
甲南大学、六甲砂防事務所、神戸新交通(株)、神戸市、東灘区役所

[主催] : 灘校生徒会震災20周年企画プロジェクトチーム



阪神淡路大震災で全壊したコープこうべ本部(住吉歴史資料館所蔵)